



Vol. 558 令和3年4月

NEWS



NPO 法人 横浜発明振興会

## 今月の行事

### 4月「ハマ発明教室」オンライン開催

3月オンライン開催参加者18名。緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスの変異種感染者の増加傾向もあり、4月も引き続き感染症対策として、オンラインで開催します。

と き 令和3年4月11(日)

午後12時45分入室開始

(1時15分までに入室して下さい。)

開始 1時30分～4時30分

ところ ZOOMオンライン上に集合

<https://us02web.zoom.us/j/84697933798?pwd=ZlhZQ2NERndWNXlrZEw4WXNqaEZYUT09>

ミーティング ID: 846 9793 3798

パスコード: hamaha2

(メールアドレス登録済の方には、3/6 送信します。再連絡希望の方は、当会アドレス

[info@yokohama-hatsumei.com](mailto:info@yokohama-hatsumei.com) へ連絡を)

1. 第1部：発明作品発表。
2. 第2部：発明品製作の為の作業道具・工具の紹介。自宅からのオンラインでなければ出来ない「お気に入り道具・工具」の情報交換を行います。

### ☆☆当会ホームページ改装情報2☆☆

<https://hamahatsu.jpn.org/wp/>

会員専用ページの利用にはパスワードが必要です。(hamaha2kai : 5/9 まで有効)

(1) 会員専用ページに、「明細書用語集(特許用語辞典) 弁理士: 大貫和保編。」の掲載開始。先ずは「暫定版」で掲載しています。適切な特許用語を探す際に利用下さい。

(2) 会員の発明品紹介ページ、生活改善アイデア・ミニ発明ページ: 自身の発明品の紹介を一定の基準で作成いただければ、掲載可能です。是非、自分の発明を世の中に発信しましょう。

掲載基準①: 検索にヒットする用語(単語)を30文字以内で準備。基準②: J P G (写真)データ、縦横950ピクセル(25.5cm) J P G 変換前のWordでも「正方形」で作成分も可。基準③: 表現可能な内容は、発明品の特徴や改良点に特化したものに限ります。詳細は「掲載規程」として、追ってお知らせします。

(左: 発明品例、右: 生活改善例)



## 第 623 回 オンライン・ハマ発明教室

### (日曜発明教室)報告

ZOOMにより 3 月 14 日 (日) に開催しました。  
出席者 役員 7 名、会員 10 名、大貫和保先生  
計 18 名

#### ○第一部

大貫和保特別顧問の講演  
「横浜発明振興会と私」



当会で 45 年余りの長い間、  
発明および特許に関してご指導  
ご支援を頂いていた大貫先生が  
3 月末をもって当会特別顧問をご勇退されます。  
そこで、このたび大貫先生から、ご挨拶及びこれ  
までの当会との歩みや思い出話、さらに会員から  
のインタビューに応じていただいて貴重なアド  
バイス等を拝聴することができました。

#### 1. 当会との最初の関わり

まだ若き弁理士であった時、特許事務所を辞め  
自分の仕事の活路を見出すために、外交をして県  
の中小企業センターに足を運んだ際、発明家が集  
まっている当会の紹介を受けて訪問し、入会した  
ことが当会との交流の始まりとのことでした。

#### 2. 当会との交流

3 代目の小林会長から現在の寺嶋会長に至る 7  
名の会長と長いお付き合いをされてきています。  
とくに第 4 代会長の三橋氏とは懇意にお付き合  
いされたこともあり、発明品「ホッチキス」に関  
し、自社工場での商品化と事業活動をされ、そし  
て発明に対して勉強家であったこと等のお話を  
して頂いた。

#### 3. 当会会員を含む優れた個人発明品

「たばこ箱商品押出し具」「ペット用猫の砂」  
「マッチ」を挙げられ、それら商品の特長を説明  
していただいた。「マッチ博士」と言われた筒井  
一郎氏(元副会長)は当会教室で何度も発表され、  
わかりやすい作り方を見出してメーカー・販売店  
と懇意になり、信頼を築きうまく売り込みされて  
いた。

#### 4. 優れた発明をするためのアドバイス

①筒井一郎氏が言っていた言葉で「捨てる目の効  
用」：よく見て頭に入れておくことが大事。例え  
ば、材料の見本市などで見て、自分のアイデア  
や技術的なトラブルがあったときに対処するヒ  
ントがひらめいてくる。事前に情報を頭に入れ

ておくことが重要。

②個人発明家が権利化する場合の注意点：自分で  
書類を書いた方がよい。依頼するとお金がかかり、  
高いので続かない場合がある。また、内容がよく  
わかる。もし事件があった場合の対処がしやすく  
なる。資金力がないと事業化ができない。事業化  
できる範囲で発明を考えて、まずローテクでよく、  
資金が稼げれば大きな発明に移るという考え方も  
ある。

③特許取得時の注意点：特許を取ったからといって  
売れるとは限らない。特許と商品は相違すると考  
えること。特許だけで言えば要件を積み重ね複雑怪  
奇に書くことで取得の可能性はある。例えば、傘の  
柄の下に電灯を付けて足元を照らす。また、ベルト  
に時計を組み込む等、ものを結合させると特許にな  
る。ただし、製造することが難しくなり商品化コス  
トが上がり、リスクも高まる。一方、シンプルなも  
のは製造や宣伝がしやすい。とかく発明家は自分の  
考えがよく、またなぜ自分が考えたものがよくない  
のかと言う。自己中心にならないこと、そして人の  
批判をよく受け止めることが肝要である。

④特許用語の使用について：例えば、「マスク」の場  
合、「マスク」関連特許を見て、適切な用語を見つ  
け出すのがよい。(大貫先生が過去にまとめられた  
「明細書用語集(特許用語辞典)」の当会ホームペ  
ージ掲載許可をいただいた。)用語集も活用してほし  
い。また、実施例を細かく書くとよいが、そのなか  
で造語も使ってよいが、明細書に用語の説明を加え  
ておく必要がある。

⑤特許調査について：新規性と進歩性の面から調査  
するにしても進歩性に関しては判断が難しい。審査  
官の判断もばらつきがあつて、拒絶査定されてもそ  
の後通る場合がある。書類を自分で書くにしても、  
弁理士が作成した書類を手本にするのがよい。

⑥100 円ショップ等とアイデアの受け入れ：ネット  
の世界になり、技術がどのように進むかわからない  
が、もうけている店が増えている。発明品を売り込  
む場合、店はそれが偽物か、特許取得済か等調べて  
いて、証明(品質等含む)を要求される。100均  
運営会社に発明品の直接持込みはハードルが高く、  
メーカーを通すのがよい。また、売り込み先をうま  
く取り込むには双方のもうけを考え、さらに信頼関  
係を築く必要がある。

⑦ 発明とは：便利なもので社会に有用なものを創り出すことである。必要とされなければならない。

最後に、大貫先生は当会での活動や今まで貢献されてきたことが評価され、平成 11 年 11 月天皇陛下から「黄綬褒章」を受勲されました。これまで当会で、発明作品に対して会員の相談等に快く対応していただき、また研究会でも長年の実務経験、法的知識、技術的知識を駆使して特許等をテーマとしたご講演を幾度も行っていただき、多大なるご指導とご鞭撻を賜りました。さらに、今回のご講演では、過去の歩みや会員への貴重なアドバイス、またこの書面で書ききれないほどの多くの思い出話等、面白い話で膨らませていただきましたことを光栄に存じます。

大貫先生におかれましては、今後とも発明の世界で楽しいライフワークを過ごされ、またご興味のある草花などで心豊かに過ごされて、ますますご健勝であられることをお祈り致します。

### ○第二部

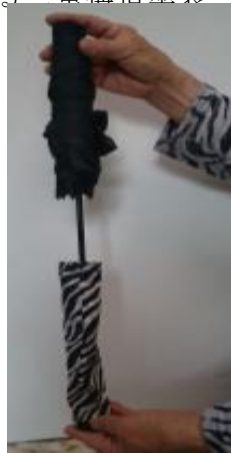
作品名 発表者

- ①傘袋付き折りたたみ傘 丸山二三子氏
- ②トンクの為の「紙トンク」 鋸屋卓明氏
- ③放射性廃棄物の地層処分 小林芳人氏の新工法

○投票の結果、次の通り賞が決まりました。

### 『最優秀賞』 8 票

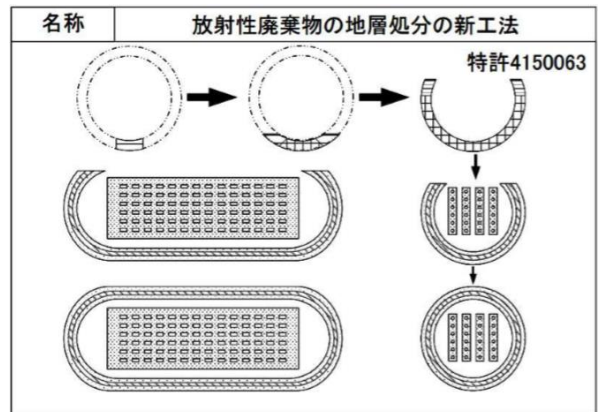
- ①傘袋付き折りたたみ傘 丸山二三子氏  
男性用日傘「サラリーマンの木陰(商標登録)」  
特許「傘袋製造方法」による二重構造傘袋



- ①小さなカバンに入る。
- ②二重構造なので、カバンの中が濡れない。
- ③傘袋の出し入れが簡単。

### 『奨励賞』

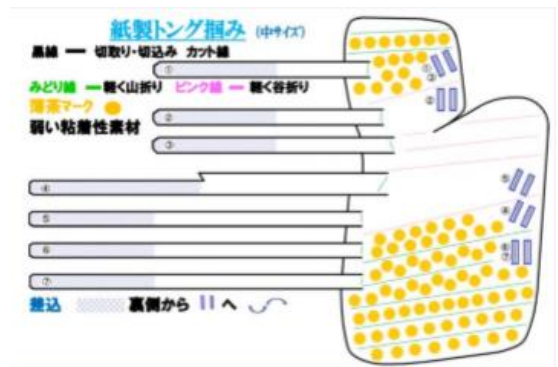
- ③放射性廃棄物の地層処分 小林芳人氏の新工法



新工法 (TEIM) による放射性廃棄物地層処分の特徴

1. 安全性が高い: 多重バリア化容易、断層に強い
2. 技術的に容易: 小型ロードヘッダー、ショベルローダ
3. 工費が安価: 軟岩層で建設可能、掘削土量が少量  
キャニスタ、オーバパックを簡略化  
3次元配置が容易
4. 工期が短い: 多地点で併行作業可能
5. 適地が拡大: 要件が少ない
6. 大量の低レベル放射性廃棄物処分にも対応可
7. 放射性廃棄物地層処分を国境を超えてビジネス化
8. 実績が無い: 実績の有る新技術など有り得るのか
9. 新技術の普及: 旧守派の抵抗大(既得権益)

- ②トンクの為の「紙トンク」 鋸屋卓明氏



4 ページへ続く

新型コロナの影響により、旅行先のホテルのバイキングで、感染防止対策のため1回使い切りのビニール手袋の使用が義務づけられたという身近な方の話から考案された作品発表でした。

【ポイント】ビニール手袋の代替策として「紙」を試されました。普通の紙では、トングが「滑り」持てないので、①手に馴染む厚さ、②滑らない方法(紙;光沢系フォト印刷紙など)、③着脱が容易、④トングに絶対に触れない「構造」を考えられました。

○3月14日 ZOOM 開催参加者画像



さる3月17日、小峰副会長と会員の丸山さんが相模原市の大貫特許事務所をお礼かたがた訪問しました。感謝状とお礼品(商品券)、丸山会員の3月の発表作品(「傘袋付き折りたたみ傘」)を贈呈し、三人でしばし歓談しました。大貫先生の長年にわたる当会へのご指導ご支援に心より感謝申し上げます。



発明学会 第25回 身近なヒント発明展

商品化を目指す アイデア大募集!

□応募部門: 応募締切 7月10日(消印有効)

- ①部門 生活用品関係  
洗濯、物干し、ハンガー、清掃用品、浴室、トイレ
- ②部門 生活用品関係  
調理用具、食卓用品、インテリア、家具、その他
- ③部門 玩具・レジャー・スポーツ・ホビー・ベビー&キッズ関係
- ④部門 文具・事務用品・教材関係
- ⑤部門 健康・美容・衛生・介護関係
- ⑥部門 衣料・寝装品・履物関係
- ⑦部門 2輪車・自動車・運搬・カー用品関係
- ⑧部門 防犯・防災関係
- ⑨部門 ユーモア発明・面白グッズ関係
- ⑩部門 園芸・農業・建築・荷造り資材関係・その他(①~⑨にない分野)

□応募方法 他 詳細につきましては  
発明学会ホームページをご参照ください!

《 昨今の商品化実績 》

○フタがトングになる保存容器



テレビの企画が縁で商品化



○錠剤を楽々取り出しできる

